

アンケート調査結果

実施日時：2024年2月3日（土）午後12時

実施場所：仙台福祉プラザ（仙台市青葉区五橋2-12-2）10階 第二研修室

実施対象者：路上生活者32人

平均年齢：54才

結果

1, 今、寝泊まりしている場所はどこですか？

駅舎7人、公園6人、地下道5人、移動3人、ファストフード店3人、ネットカフェ2人、アーケード街1人、寺社軒下1人、知人宅1人、無回答3人

2, 出身はどこですか？

宮城県16人、岩手県5人、北海道4人、青森県2人、東京都1人、愛知県1人、神奈川県1人、無回答2人

3, 今、体で調子の悪いところがありますか？

ある18人、ない11人、無回答3人

4, 調子の悪いところがあると答えた方、それはどこですか？（複数回答可）

足痛8人、腰痛5人、高血圧5人、手・指痛4人、糖尿病3人、肩痛3人、背中痛2人、歯痛2人、喘息1人、膝炎1人、ヘルペス1人、ヘルニア1人、無回答3人

5, 人生をやり直したいと思いませんか？

思う20人、思わない9人、無回答3人

6, 人生で後悔していることがありますか？

・金の使い方 ・小さい頃から体が弱かった ・喧嘩で仕事を辞めたこと ・学校の成績が悪かった ・両親や家族との関係 ・仕事が長続きしなかった ・もっと勉強をすればよかった ・給料が安かった ・年金を掛けていなかった

7, 今、頼りになる人（ところ）は誰（どこ）ですか？（複数回答可）

なし11人、NPO等支援団体8人、知人友人6人、家族4人、行政4人、無回答3人

8, 能登半島の地震や被災者の方々について思うことがありますか？

・東日本大震災を経験しているので能登半島の被災者を思うと胸が痛い ・他人事と思えない ・大変でしょうが必ずいつか光がさすからそれを希望にしてほしい ・自分のことのように思う ・能登半島の被災者の皆さんにはくれぐれも体に気をつけてほしい ・とにかくあらゆる支援が必要 ・真っ先に政治が支援に十分動いて次の段階でボランティアが送られるべき ・自分も東日本大震災を経験し「頑張れ」や「頑張ろう」という言葉が重荷だったので能登半島の被災者に「頑張れ」でなく「辛いよな」「悲しいよな」と言葉を贈りたい

9, 今、必要なもの（こと）は何ですか？（複数回答可）

金8人、寝泊まりする場所5人、仕事4人、健康4人、ゆっくり休めるところ2人、安全1人、無回答5人

10, 政治や政治家に言いたいことがありますか？

・末端の人間のことをもっと考えてほしい ・本来すべきことをしてほしい ・金の問題ふざけている、しっかりしろ ・何をするにももっとスピーディーにやってほしい ・選挙の時だけいい顔をしてそれが終わったらふんぞりかえっている ・値上げをやめてほしい ・キックバックに腹がたつ

11, 行政やNPOに言いたいことがありますか？

・ホームレスでも働ける機会をつくってほしい ・ホームレスにも現金支給をしてほしい ・行政にやる気がないように思えるのでしっかりしてほしい
・食べることに困っているので食料支援をもっとお願いしたい

12, 今の思いを自由にお書きください。

・なんとか生き延びたい ・人の役に立つようになりたい ・安全に過ごすことができる環境がほしい ・体調が悪いので助けてほしい

以下省略